

出張先から母乳送り
議員と子育て
両立に奮闘中



昨年秋の臨時国会閉会直後の11月に出産した自民党参院議員の有村治子さん(33)は、仕事と子育てを抱えた母親の大変さを味わっている。国会議員が在職中に出産する例は数少ない。

参院選まで講演会などで出張が続き、子供と1週間以上離れることもあった。移動中の車中や宿泊先で母乳をパック詰めにして、冷凍用の宅配便で子供のもとに送る。忙しい時には母乳を出す時間をとれず、乳腺炎にかかって高熱が出たことも

ある。「美談にする気はないが、出産後は疲れて新聞も読めない。こういう追いつめられた感覚をどう社会が受け止めるか。考える場づくりが必要と思った」

5月には厚生労働省や内閣府などと同様に子育て中の女性官僚らを集め、勉強会を開いた。「子育てと仕事に頑張る女性に向けて、与党として魅力ある政策を打ち出したい。そのために、意思決定プロセスにもっと当事者が入っていかないと変わらない」

(石黒正彦)